

評価指標の令和3年度実績について

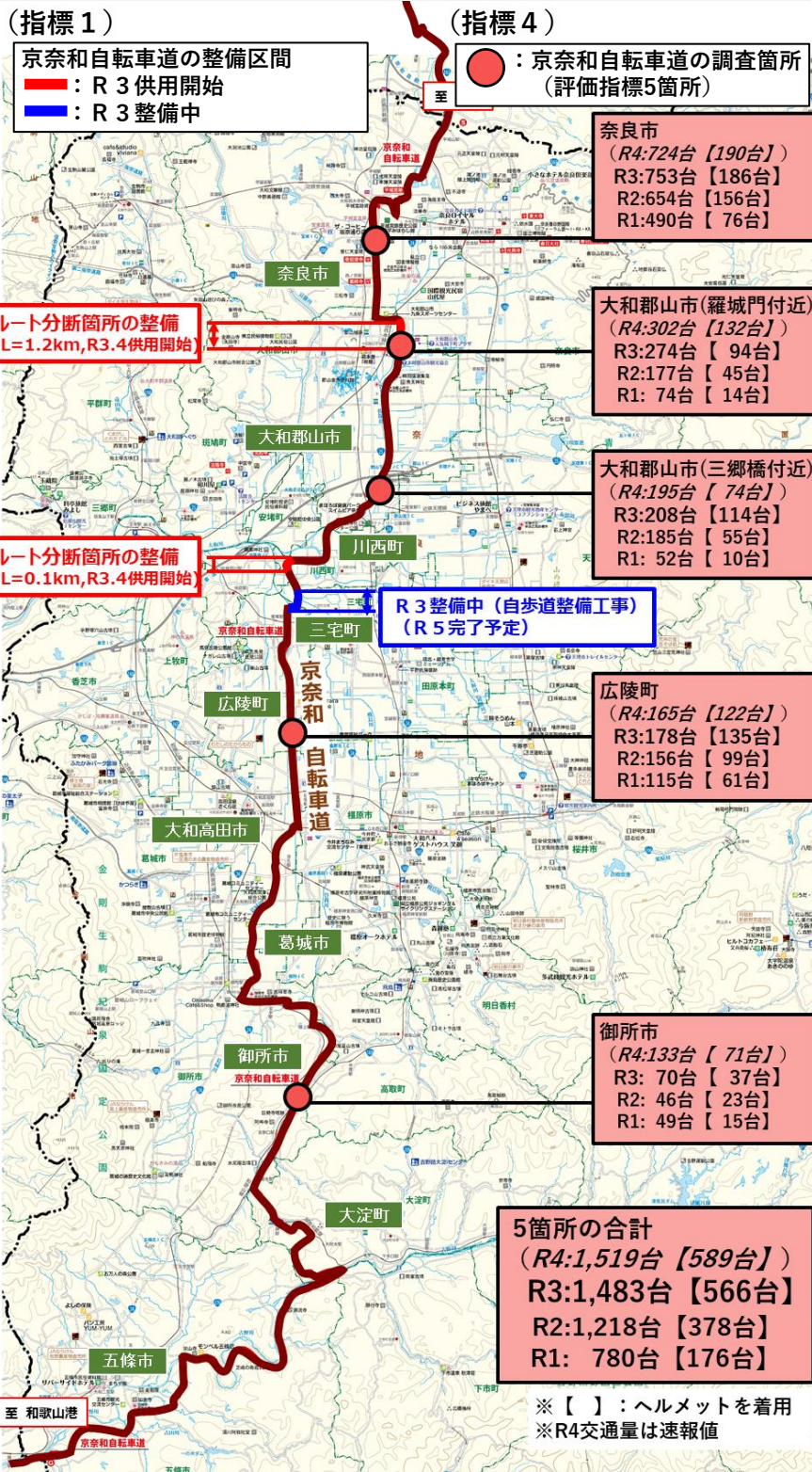
資料 1

分野	評価指標		単位	参考 H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	参考評価 (前年度比)	備考	
観光振興	1	サイクリングルートの整備延長	京奈和自転車道（県内）	km	15	40	71	75	↗	令和3年4月1日に京奈和自転車道が つながる
	参考		世界遺産周遊サイクルルート	km	—	—	—	0	—	令和3年度から事業に着手
	2	自転車の休憩所、サイクリストに やさしい宿等の認定数	自転車の休憩所	施設	191	195	196	200	↗	各年度末（3.31）時点の 総認定数
	3		サイクリストにやさしい宿	施設	60	61	62	67	↗	各年度末（3.31）時点の 総認定数
	参考		サイクリストにやさしい駐車場	施設	—	—	—	5	↗	令和3年度から認定開始
	4	自転車交通量（定点計測箇所）		台/日	—	780	1,218	1,483	↗	京奈和自転車道における ルート上5箇所 休日 7時～19時の合計値
	5	サイクルイベントの申込者数 （「山岳グランfondin吉野」、 「モバイルグランfondin奈良・吉野」、 「ツアー・オブ・奈良・まほろば」、 「ヒルクライム大台ヶ原since2001」 の合計値）	サイクルイベント （全申込者数）	人	1,880	1,713	未実施	662	—	令和3年度は、「ツアー・オブ・奈良・ま ほろば」「ヒルクライム大台ヶ原 since2001」は中止のため、「モバイル グランfondin奈良・吉野」の申込者 数
6	サイクルイベント （県内申込者数）		人	469	434	未実施	340	—		
7	サイクルイベント （県外申込者数）		人	1,411	1,279	未実施	322	—	※「モバイルグランfondin奈良・吉 野」は、「山岳グランfondin吉野」を 継承するイベント	
まちづくり	8	自転車通行空間の整備延長（県管理道路のみ） ※京奈和自転車道・世界遺産周遊サイクルルートは除く		km	0	0	0.7	1.7	↗	
	9	自転車の利用率		%	—	35.4	30.2	31.1	↗	県民アンケート ※各年度1月公表 ※令和3年度は県民webアンケート
	10	サイクリングの実施率		%	5.4	5.1	5.7	5.8	↗	県民アンケート ※各年度1月公表
	11	市町村版自転車活用推進計画の策定自治体数		市町村	0	0	1	1	→	
安全・安心	12	自転車事故の発生件数	自転車の人身事故	件	679	543	467	499	↘	1月～12月の事故件数
	13		自転車事故構成率	%	16.9	16.3	16.7	17.0	↘	
	14	損害賠償保険や自転車保険の加入率		%	—	61.9	66.1	61.9	↘	県民アンケート ※各年度1月公表

評価指標の令和3年度実績について

指標1 サイクリングルート of 整備延長 (京奈和自転車道)

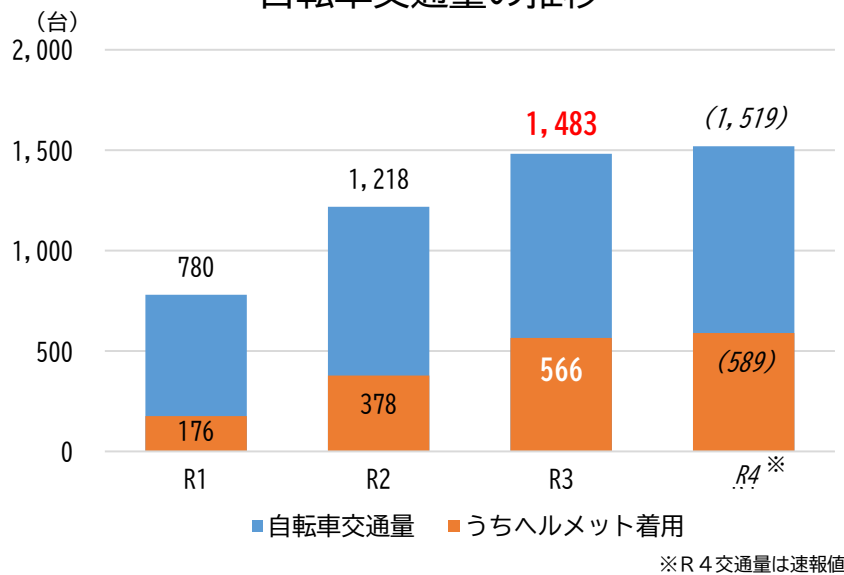
- 令和3年4月1日に京奈和自転車道がつながる (1.3km供用開始)
- 引き続き、走行環境の改善を実施



指標4 自転車交通量 (定点計測箇所)

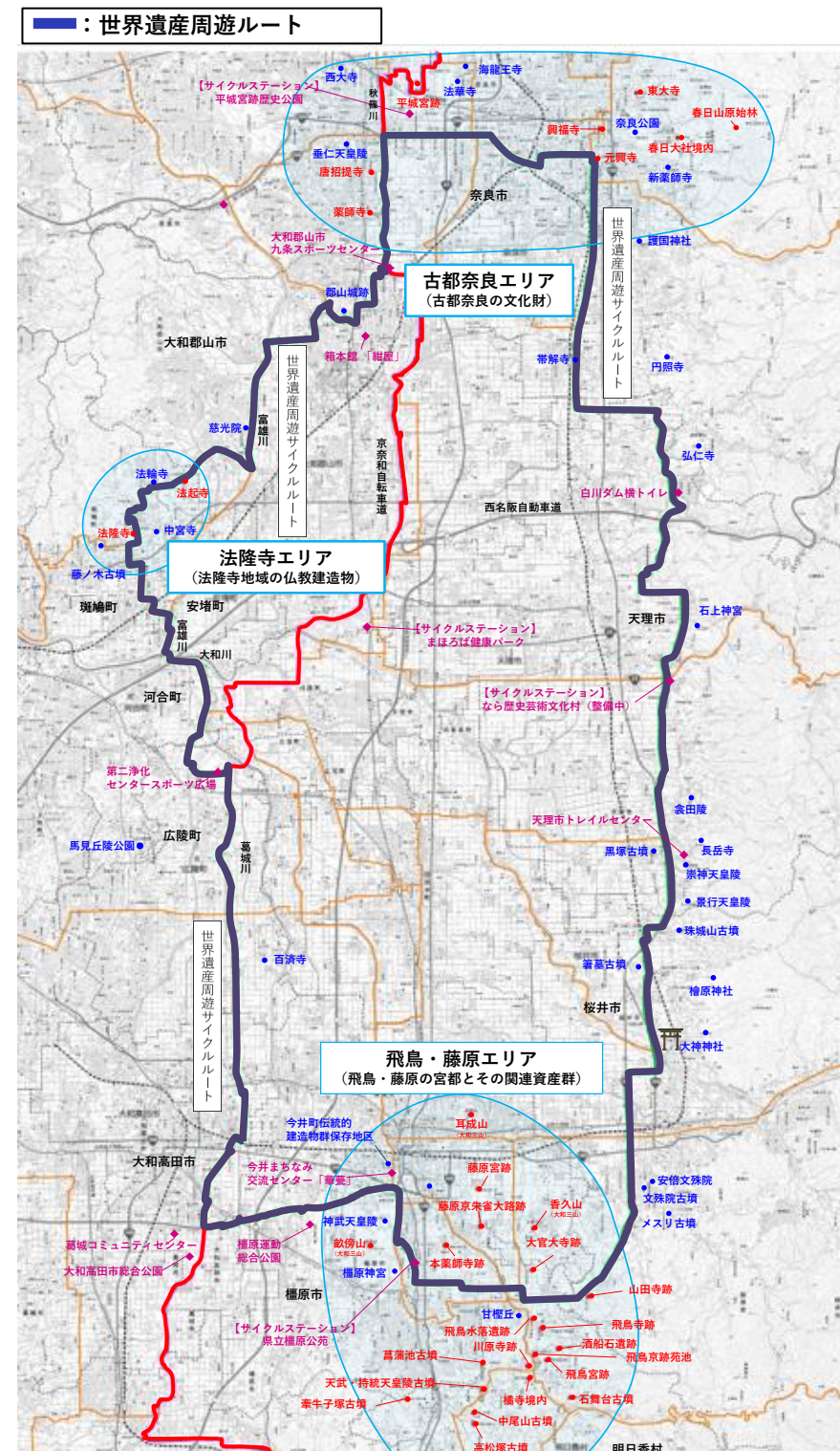
- 京奈和自転車道のルート上5箇所における、秋の休日・7時~19時の自転車交通量を計測。
- 令和3年度の自転車交通量は1,483台で、令和2年度(1,218台)より増加。(前年度比約1.2倍)
- うち、ヘルメット着用は566台で、令和2年度(378台)より増加。(前年度比約1.5倍)

自転車交通量の推移



参考 サイクリングルート of 整備延長 (世界遺産周遊サイクリングルート)

- 令和3年度から事業に着手。
- 令和3年度は、案内誘導サイン等の詳細設計を実施。



評価指標の令和3年度実績について

指標 2 自転車の休憩所の認定数

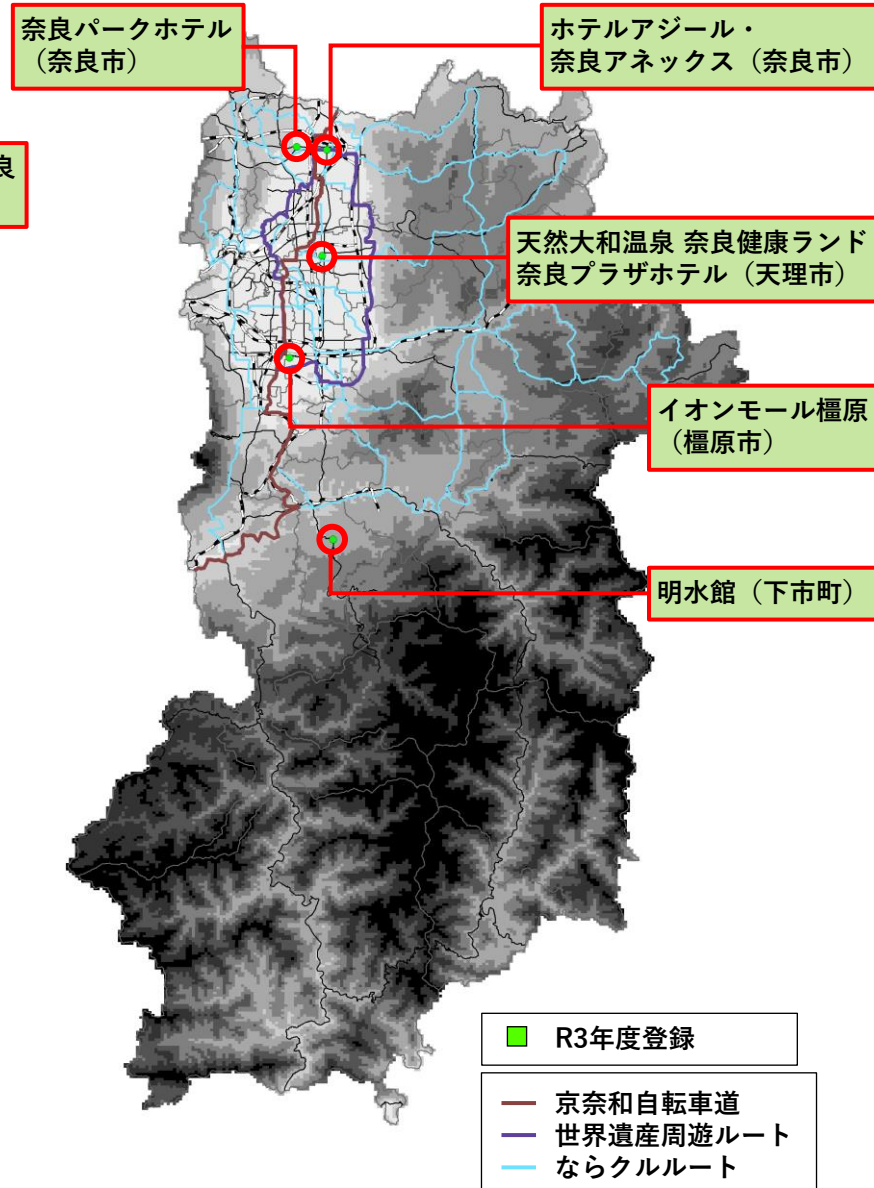
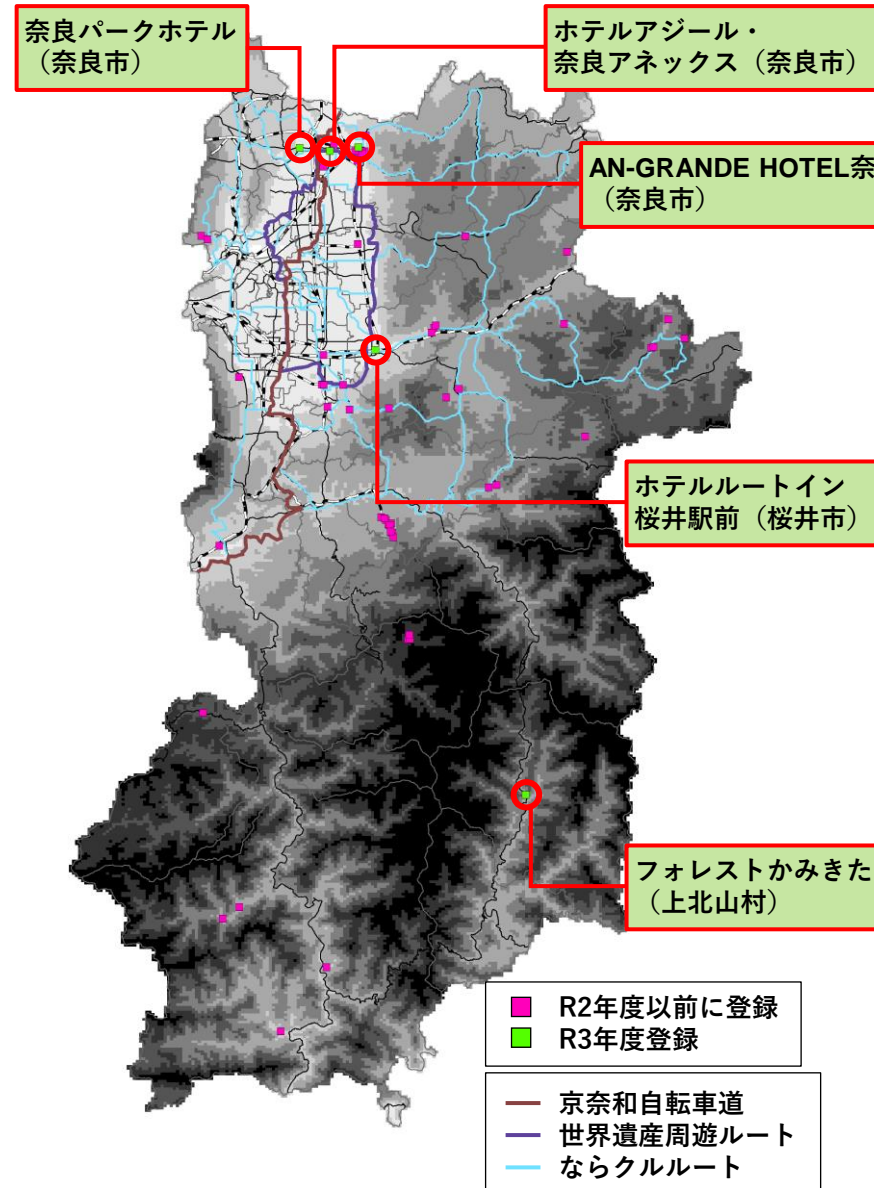
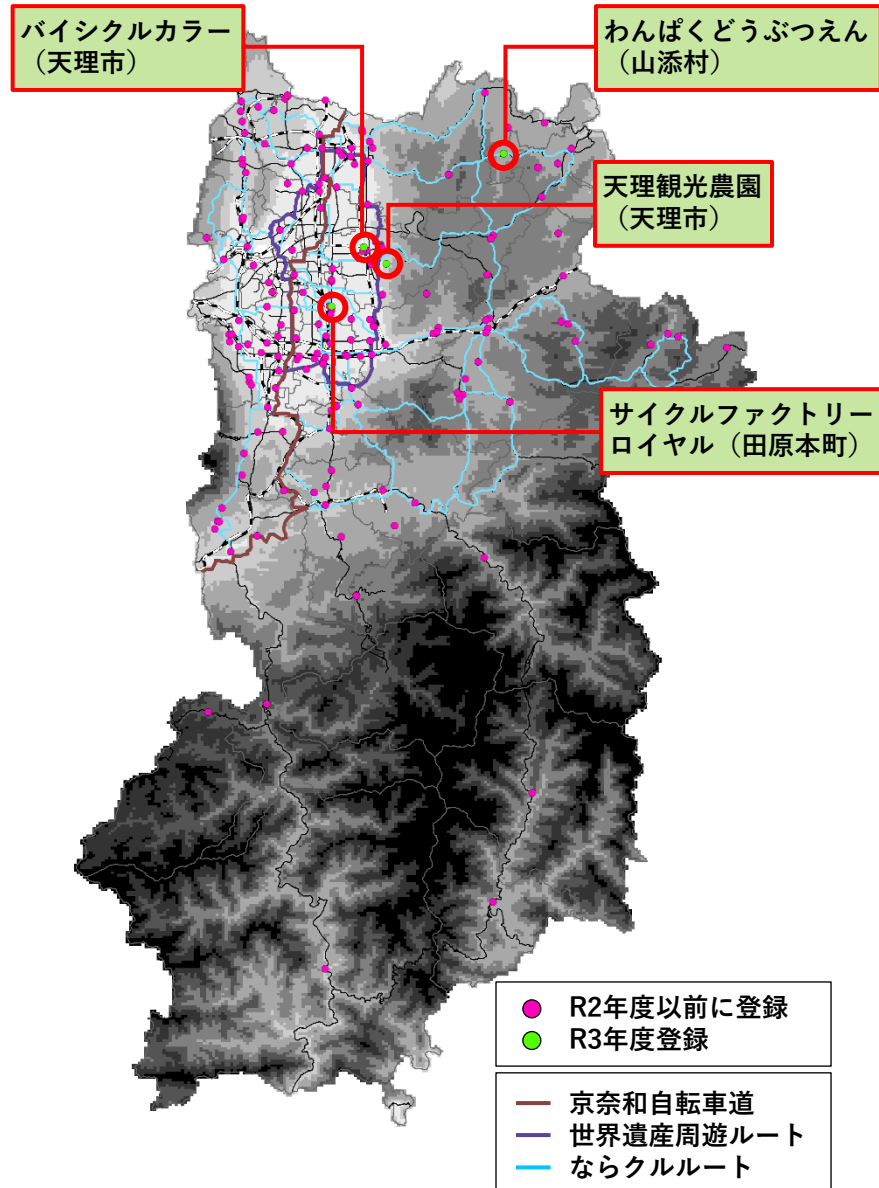
- 令和3年度は、4施設増加。
- 令和3年度末時点の総認定数 200施設。
(参考：令和3年度末時点の認定数 177施設)

指標 3 サイクリストにやさしい宿の認定数

- 令和3年度は、5施設増加。
- 令和3年度末時点の総認定数 67施設。
(参考：令和3年度末時点の認定数 61施設)

参考 サイクリストにやさしい駐車場の認定数

- 令和3年6月から認定開始。
- 令和3年度末時点の総認定数 5施設。



指標 5・6・7 サイクルイベント（全申込者数・県内申込者数・県外申込者数） ※R2年度は全イベント中止

モバイルグランfondoin奈良・吉野



【イベント概要（R3）】

- 16回の歴史をつないできた「山岳グランfondoin吉野」を継承する、奈良県全土をステージとしたイベント。
- モバイルデバイスを持って地図上のチェックポイントを巡る無料の「ポイントラリー」と、応募された少人数の参加者が、開催地点周辺のチェックポイントをめぐり有料のサイクリングイベント「ワンデイポイントラリー」で構成されるハイブリッドイベント。
- 実施期間 R3.4.29～R4.2.28



写真出典：モバイルグランfondoin奈良・吉野HP

【参加者数の推移】

	R 1 年度※	R 3 年度
全申込者数	545	662
県内申込者数	124	340
県外申込者数	421	322

※R1年度は「山岳グランfondoin吉野」参加者数

ツアー・オブ・奈良・まほろば



【イベント概要（R4）】

- 奈良県奥大和地域の風光明媚な自然や歴史を、自転車を通じて楽しむサイクリングイベント。
- 基本コースをベースにチェックポイントを掲載したマップを渡し、マップを参考にして、2人以上のチームで協力しながら、自由にチェックポイントを巡るサイクリングイベント。
 - ・山添・奈良コース（基本コース約75km）
 - ・曾爾・御杖コース（基本コース約69km）
 - ・宇陀・東吉野コース（基本コース約70km）



写真出典：ツアー・オブ・奈良・まほろば2022HP

【参加者数の推移】

	R 1 年度	R 3 年度
全申込者数	350	中止
県内申込者数	112	—
県外申込者数	238	—

ヒルクライム大台ヶ原since2001



【イベント概要（R1）】

- 近畿の屋根と言われる吉野熊野国立公園内に位置する大台ヶ原の神秘の峰々を望みながら走る、距離28km、標高差1240mを競うタイムレース。
- ロードクラス、MTBクラス、チーム（ロード）クラス、親子クラス、カップルクラスに加え、2017年より小学校4年生～中学校3年生までの「ジュニアクラス」、小学校1年生～3年生までを対象とした「キッズクラス」を設定。



写真出典：ヒルクライム大台ヶ原since2001HP

【参加者数の推移】

	R 1 年度	R 3 年度
全申込者数	818	中止
県内申込者数	198	—
県外申込者数	620	—

評価指標の令和3年度実績について

指標 8 自転車通行空間の整備延長（県管理道路のみ） ※京奈和自転車道・世界遺産周遊サイクルルートは除く

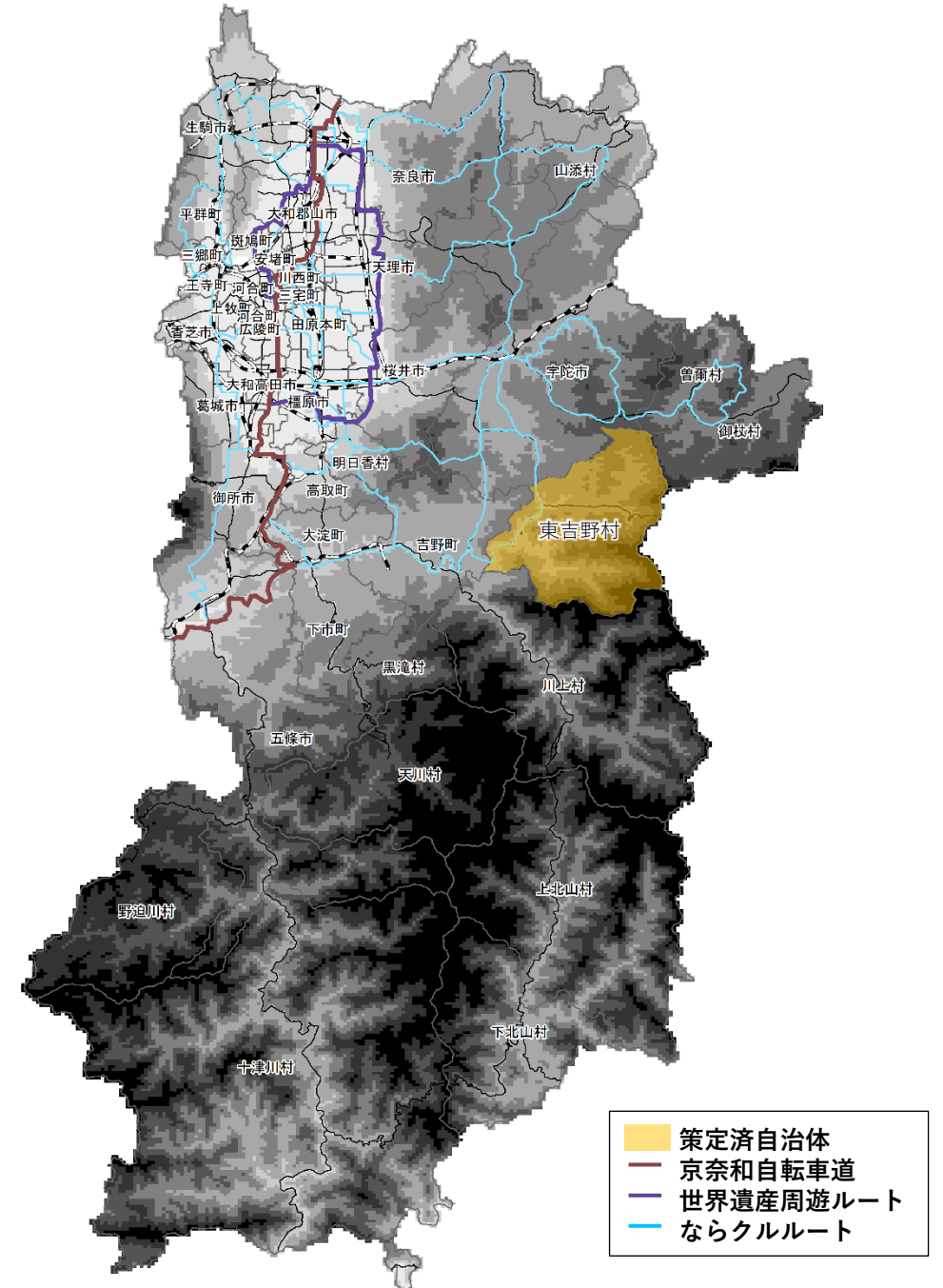
- 令和3年度の県管理道路における自転車通行空間の整備は、奈良県立橿原高等学校付近（橿原市内）の県道戸毛久米線L=約1.0kmで矢羽根型路面表示等を整備。

▼整備後の状況



指標 11 市町村版自転車活用推進計画の策定自治体数

- 令和3年度は、策定自治体なし。
- ※ 今後、五條市、御所市、葛城市、宇陀市、平群町、安堵町、高取町、広陵町、河合町が策定予定。



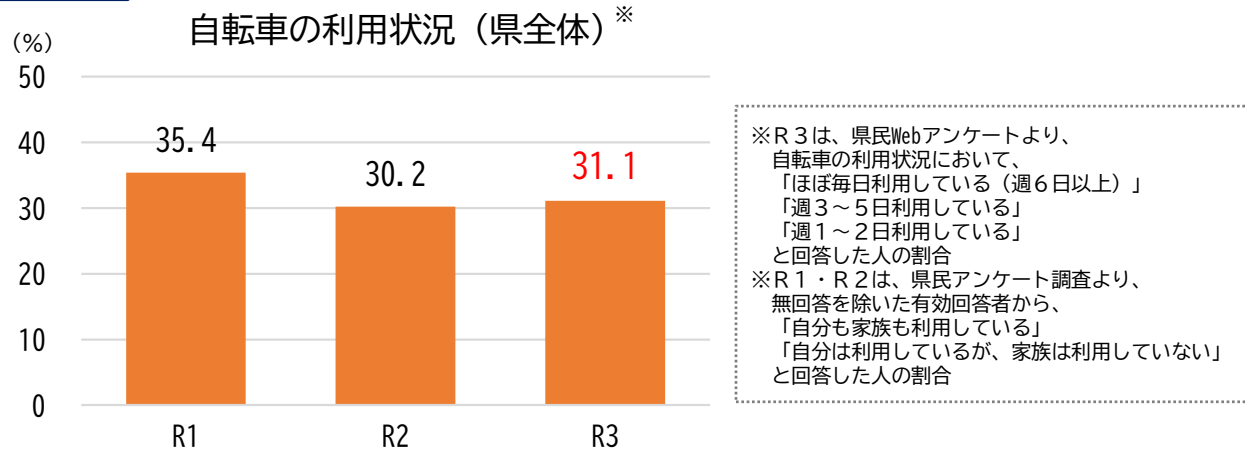
評価指標の令和3年度実績について

指標 9 自転車の利用率 (県民アンケート調査、県民Webアンケートより)

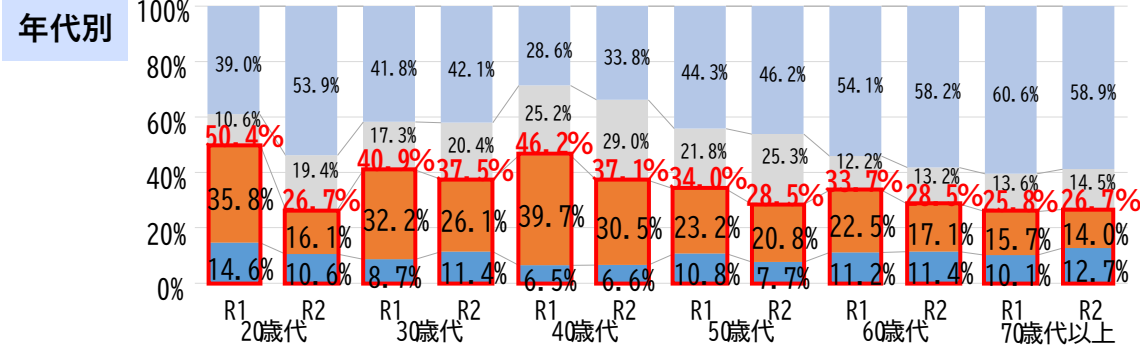
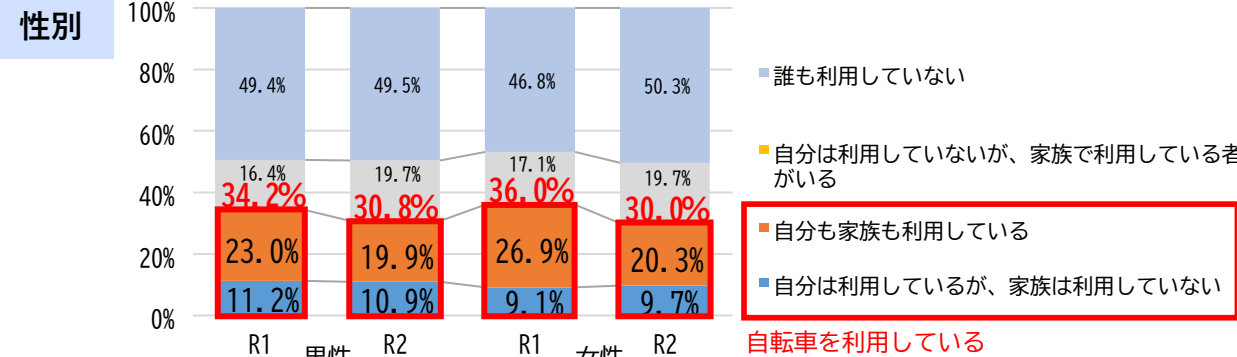
- 令和3年度の県全体の自転車の利用率は31.1%で、令和2年度(30.2%)と比較して横ばい。

※ 令和3年度は、県民Webアンケートのため回答者属性なし。

県全体 R1:n=2,252、R2:n=2,720、R3:n=238



参考 ※R3は県民Webアンケートのため、回答者属性なし

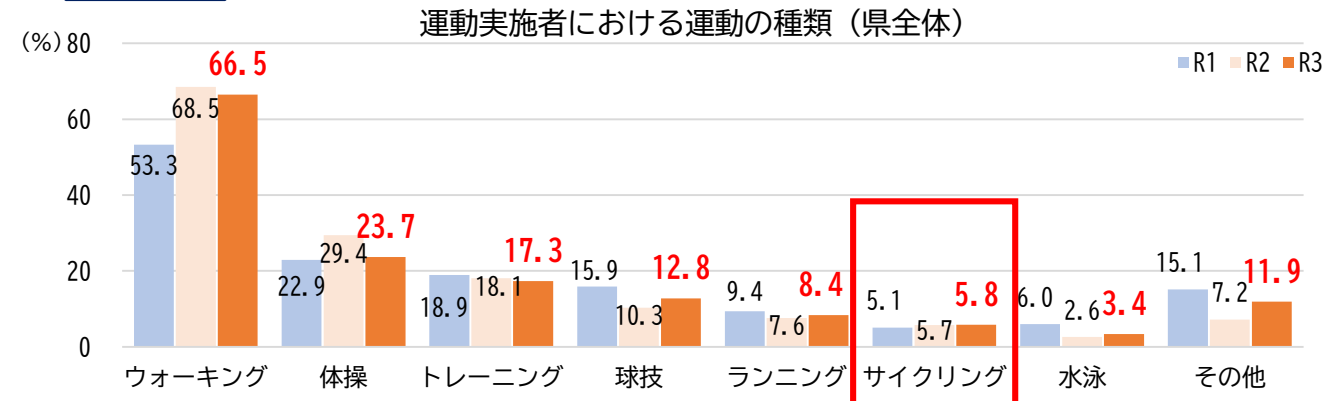


※出典：奈良県 県民アンケート調査、県民Webアンケートを基に作成

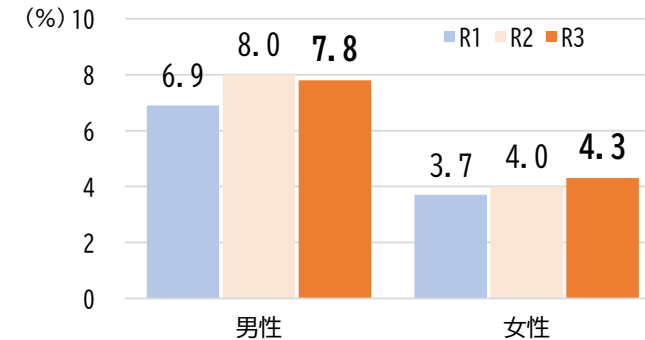
指標 10 サイクリングの実施率 (県民アンケート調査より)

- 令和3年度の県全体の運動実施者のサイクリング実施割合は5.8%で、令和2年度(5.7%)と比較して横ばい。
- 性別では、男性は横ばいであるのに対し、女性は微増傾向。
- 年代別では、50歳代以上では減少傾向に対し、20歳代・40歳代では増加傾向。特に40歳代では約1.7倍の増加となっている。

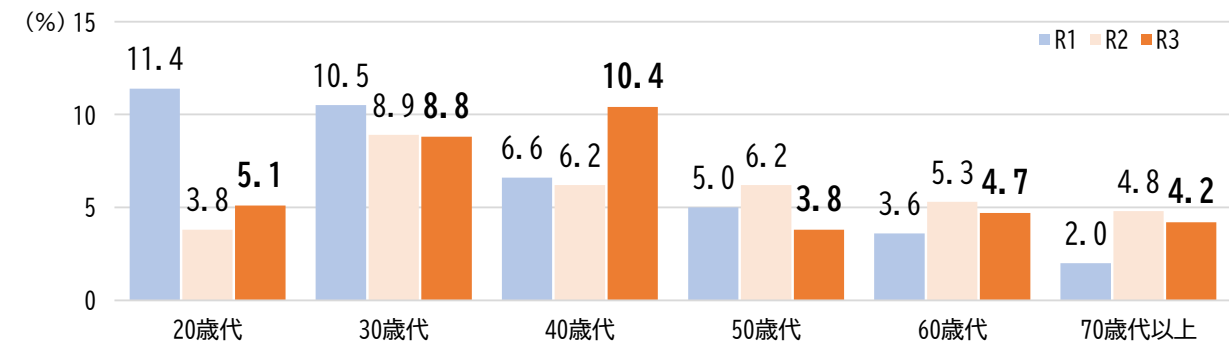
県全体 R1:n=1,229、R2:n=1,940、R3:n=1,503



性別 運動実施者におけるサイクリング実施割合



年代別 運動実施者におけるサイクリング実施割合



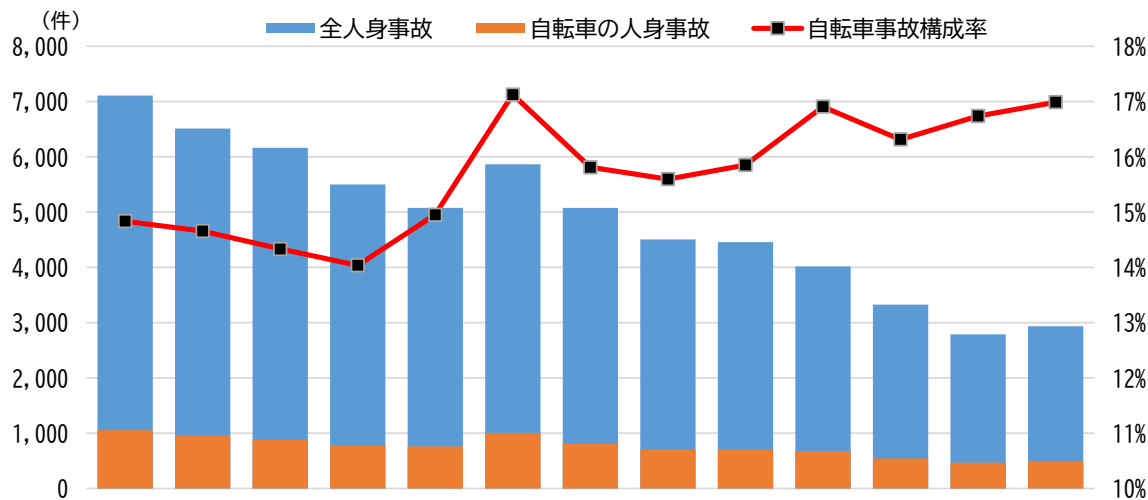
※出典：奈良県 県民アンケート調査を基に作成

評価指標の令和3年度実績について

指標 12・13 自転車事故の発生件数 (自転車の人身事故・自転車事故構成率)

- 全人身事故件数は、平成26年以降は減少傾向であるが、令和3年は2,937件で、令和2年(2,790件)より増加している。
- 自転車の人身事故件数も、平成26年以降は減少傾向であるが、令和3年は499件で、令和2年(467件)より増加している。
- 令和3年の自転車事故構成率は17.0%で、令和2年(16.7%)より増加しており、令和元年以降増加傾向である。

自転車交通事故件数の推移



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全人身事故	7,111	6,515	6,167	5,499	5,076	5,868	5,078	4,507	4,460	4,016	3,328	2,790	2,937
自転車の人身事故	1,055	955	884	772	759	1,005	803	703	707	679	543	467	499
自転車事故構成率	14.8%	14.7%	14.3%	14.0%	15.0%	17.1%	15.8%	15.6%	15.9%	16.9%	16.3%	16.7%	17.0%

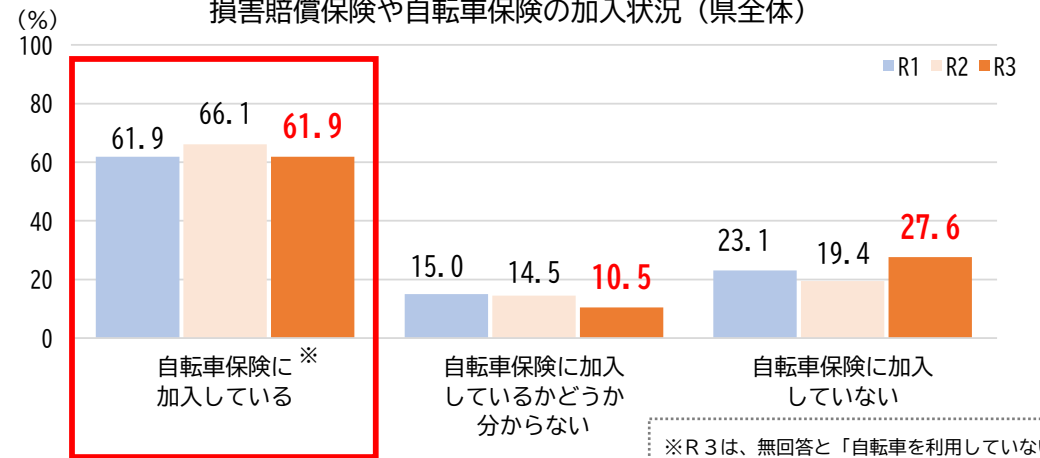
※出典：奈良県警提供データ

指標 14 損害賠償保険や自転車保険の加入率 (県民アンケート調査より)

- 令和3年度の県全体の損害賠償保険や自転車保険の加入率は61.9%で、令和2年度(66.1%)よりやや減少している。
- 性別では、男性女性ともに減少している。
- 年代別では、50歳代で増加しているものの、その他の年代では減少している。
- また、20歳代、60歳代、70歳代は50%台で他年代より加入割合が低くなっている。

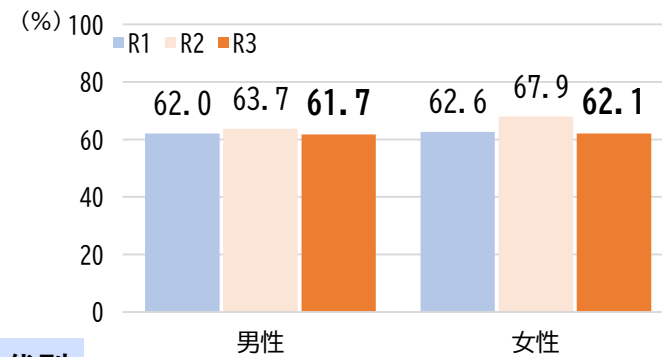
県全体 R1:n=937、R2:n=1,183、R3:n=1,218

損害賠償保険や自転車保険の加入状況(県全体)



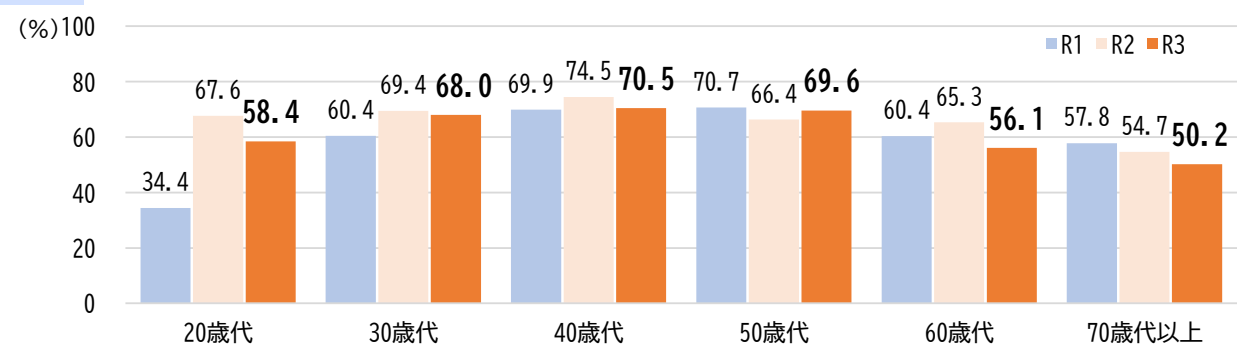
性別

損害賠償保険や自転車保険の加入割合



年代別

損害賠償保険や自転車保険の加入割合



※出典：奈良県 県民アンケート調査を基に作成